

義農公園再整備設計業務 仕様書

義農公園は、昭和33年に町内で初めて整備された都市計画公園であり、隣接する義農神社とともに、象徴的な空間として親しまれてきた。かつては町営コミュニティプールやタコの滑り台などの施設を備え、世代を超えて町民の記憶に残る憩いと交流の場であった。現在では、義農公園及び隣接する松前保育所跡地の地下に雨水貯留施設が整備されており、公園の区域拡張や空間再編を見据えた再整備の必要性が高まっている。

1 業務名

義農公園再整備設計業務

2 業務期間

契約締結の日から令和8年3月31日（火）までとする。

3 目的

義農公園再整備設計業務（以下「本業務」という。）は、義農公園の将来的な在り方について、既成市街地地区のにぎわいの創出や地域の魅力向上への寄与も視野に入れ、町が主体となって実施する町民向けのアンケートやワークショップ、並びに将来的な管理運営を見据えた地元団体等からの意見を踏まえ、多世代交流、歴史継承、防災等の機能を備えた公園空間の整備に向けた検討を行うものである。

本業務において、公園全体の空間構成、機能配置、ゾーニング、動線計画、施設構成、植栽、設備、維持管理の視点等について、実施段階を見据えた具体的かつ整合性のある検討を行い、必要な図面及び成果品を作成するものとする。

4 業務の範囲

松前町大字筒井（A≒0.72ha）※義農神社部分除く。（別紙設計範囲図参照）

本業務は、義農公園及びその隣接地を対象とし、再整備に向けて区域ごとに以下の範囲について検討を行うものである。なお、義農神社については、一体的な活用が現時点では不確定であることから、当該神社を除いた場合の検討と、将来的に一体的な利用が可能となった場合を想定した空間構成上の検討を行うものとする。

名 称	所在地	面 積	業務対象範囲の概要
①義農公園	松前町大字筒井 1331-1	約0.30ha	昭和33年度整備。既存施設（園路、芝生、遊具、休憩所、外構等）の再構成対象。現在は雨水貯留施設整備中。
②プール＋老人憩の家跡地	松前町大字筒井 1327、1328	約0.10ha	旧プール及び老人憩の家跡地を含む空間。義農公園と一体的に公園として整備する範囲。

③保育所跡地	松前町大字筒井 1326-2+農道	約0.28ha	旧松前保育所跡地。現在は雨水貯留施設の整備区域であり、公園として一体的な活用を想定。
④増加部分	松前町大字筒井 375-3他	約0.04ha	雨水貯留施設整備区域。整備後の地上部を公園として活用し、公園及び歩道の設計を対象とする。
⑤義農神社	松前町大字筒井 1329外5筆	約0.24ha	設計対象ではないが、将来的な一体利用の可能性を踏まえ、空間構成上の関係性や活用イメージを検討（図示等）するにとどめる。
⑥義農通り周辺	松前町大字筒井	—	義農公園の再整備を契機として、リノベーションまちづくりに関する取り組みが期待されるエリア。ただし、本業務との直接的な関係は限定的。

5 業務の内容

（１）業務計画

業務の目的や内容を把握し、業務手順や遂行に必要な計画（業務計画書）を立案する。

（２）与条件の細部整理

以下の項目により得られたデータを基に、計画地における設計条件を整理すること。

①与条件や計画の把握と整理

②各種設計条件の整理と確認

③各種設計基準の抽出と適用の確認

④現地調査（義農公園及び保育所跡地については雨水貯留施設の工事中であり、現場状況に応じて調査方法や範囲に制限が生じることを考慮すること。）

（３）既存敷地及び施設に関する方針検討

義農公園及びその隣接地の敷地全体及び既存施設（園路、広場、遊具、外構、植栽、ファニチャー、照明等を含む）の現況を把握し、再整備の方針を検討すること。

なお、設計業務実施の上では隣接する義農神社の土地・建物は対象外とするが、公園と一体的に利用される状況を踏まえ、神社との動線や視覚的連続性、歴史的背景に配慮し、デザイン面での調和が図れるよう空間構成及び景観的な検討を行うこと。

（４）町民意見の反映

本整備に関する町民意見の把握は、町が主体となり町民向けのアンケート及びワークショップを実施する予定である（令和7年10月頃より実施予定）。受託者は、これらの結果を踏まえ、町民意見を反映した空間構成及び施設配置となるよう計画を検討すること。なお、アンケート・ワークショップ等の実施・運営・整理は町が行う。

併せて、町は同時期に将来的な管理候補者（地元団体を想定）へのヒアリングも実施する。受託者は、その内容を参考にしつつ、管理運営の視点を踏まえた施設配置や空間構成となるよう計画に反映すること。なお、ヒアリング対象は1～2者程度を想定し、業務の進行を妨げるものではない。

(5) 施設構成等の検討

与条件整理及び町民意見等を踏まえ、公園全体の整備計画に必要となる以下の事項について整合性ある検討を行う。

- ・計画内容の整合性確認
- ・敷地、施設容量及び利用者数等に基づく配置計画の検討
- ・空間構成、景観、意匠等に関する検討
- ・園路、広場、遊具、植栽等に関する検討
- ・駐車場及び駐輪場の適切な規模・配置に関する検討及び設置
- ・造成及び給排水等インフラに関する検討
- ・建築物等（トイレ棟・管理棟・あずま屋）の配置及び構成に関する検討
- ・想定される災害の整理と防災機能の検討
- ・整備水準及び概算事業費の検討

※管理棟の検討は必要性があると判断された場合とする。

(6) 敷地内建築物等の検討

公園内に整備するトイレ棟・管理棟・あずま屋は、二次製品（プレハブ含む）を基本とする。ただし、選定にあたっては、公園全体の空間構成や動線、敷地形状、周辺環境との調和に十分配慮し、特に義農神社との視覚的・空間的な一体感を損なわないよう、意匠性や景観にも十分配慮した配置・構成とする。

なお、住民や管理候補者へのヒアリング結果等を踏まえ、建物等の面積や構造が当初の想定と大きく変化する場合は、現行業務の範囲外となることが想定されるため、必要に応じて別途協議のうえ、変更契約等により対応するものとする。

(7) 図面等作成

施設構成等の検討結果に基づき、以下の図面を作成する。

なお、配置計画図及び鳥瞰図（パース）については、「義農神社を現状のまま残す場合」と「義農神社敷地を活用可能な状態とし、公園と一体的に利用する場合」の2パターンを作成するものとする。

- ・配置計画図（義農神社現状案・一体利用案の2パターン）
- ・計画平面図
- ・主要断面図
- ・主要施設一般図
- ・鳥瞰図（パース）（義農神社現状案・一体利用案の2パターン）

図面は国土交通省「CAD製図基準」に準拠する。

(8) 概算工事費算出

施設構成等の検討結果に基づき、市場単価や参考見積等を用いて概算工事費を算出する。

(9) 報告書作成

検討内容及び成果を簡潔かつわかりやすく取りまとめた報告書を作成する。

(10) 打合せ協議

打合せは、業務着手時、中間2回、成果納品時の計4回実施する。

打合せは、対面又はWEB会議等の方法により実施することができる。

6 成果品

本業務における成果品は下記の通りとする。

- ・業務報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2部
- ・電子データ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1式
- ・3Dモデリングデータ・・・・・・・・・・・・ 1式

※3Dモデリングデータについて

義農神社を含めた周辺空間を含む公園全体の3Dモデルを作成し、鳥瞰図（パース）作成に用いたデータを成果品として提出する。

義農神社を含む／含まない2パターンを作成し、双方のデータを提出すること。
なおファイル形式は以下のいずれかとする。

- ・SketchUp（.skp）形式
 - ・Rhinoceros（.3dm）形式
- 又は両ソフトで読み込み可能な互換ファイル形式（.dxf、.3ds）

7 その他

（1）町民向けアンケートの概要（予定）

①時期

- ・令和7年10月中

②実施方式

- ・オンライン（町ホームページ・SNS等から回答可能とする）
- ・公共施設等窓口でアンケート用紙の配布・回収
- ・想定対象者：子育て世代を中心に、幅広い年齢層
- ・英語表記でも実施

③アンケート内容

- ・現状利用状況と利用頻度
- ・公園に求める基本機能（安全性、快適性、利便性等）
- ・滞在・交流を促す要素（芝生広場、休憩施設、イベント空間等）
- ・歴史資源への配慮や継承に関する考え
- ・防災機能や災害時利用に関する意識

④提出数（想定）

- ・100～200程度

⑤活用方法

- ・集計、分析結果をワークショップの資料とし、計画への基礎データとする

（2）町民向けワークショップの概要（予定）

①時期

- ・令和7年11月～12月

②実施方式

- ・全4回（平日夜間・休日等、参加しやすい時間帯を組み合わせる）

- ・参加者：地元関係者のほか公募による町民等
(20名程度を想定、世代・属性のバランスに配慮)

③話し合いの内容（想定）

- ・アンケート結果の共有と意見交換
- ・現状利用の課題整理
- ・公園の基本機能や魅力的な滞在・交流空間に関するアイデア出し
- ・歴史資源や防災機能の取り入れ方に関する意見交換

④最終成果物イメージ

- ・「義農公園でこんなことしてみたい一覧」及び配置計画イメージ

⑤活用方法

- ・成果物を受託者に提示し、計画・設計の基礎資料として反映

(3) 管理候補者ヒアリングの概要（予定）

①時期

- ・令和7年11月

②実施方式

- ・1～2回想定
- ・参加者：地元団体1～2者想定（将来的な管理運営を担う可能性のある団体）

③ヒアリング内容

- ・現状利用の課題や改善点
- ・基本機能や滞在・交流空間に求める要素
- ・歴史資源の活かし方
- ・防災機能や災害時対応に関する考え方
- ・管理運営上の課題と必要な支援

④最終成果物イメージ

- ・「義農公園でこんなことしてみたい一覧」及び配置計画イメージ

⑤活用方法

- ・町民意見とあわせて整理し、計画・設計段階での優先順位付けや現実的な運営方法の検討に活用

①義農公園 3,015m²

④義農神社 外 2,412m²

②ﾌﾟｰﾙ+老人憩の家跡地 1,064m²

③保育所跡地 2,826m²

④増加部分 463m²

設計範囲図 S=1:500

